

## 水と災害／東京・大阪・中京圏

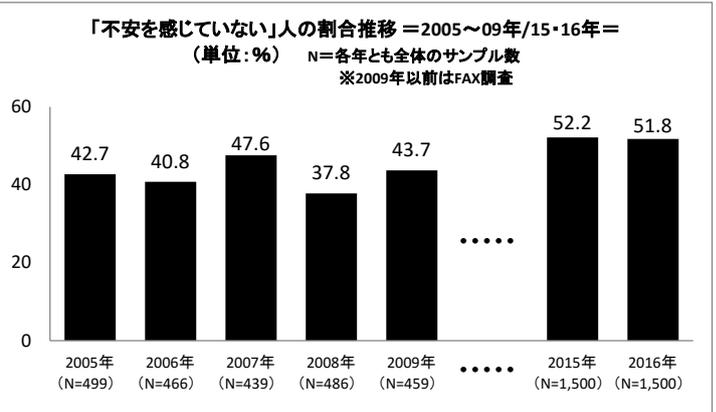
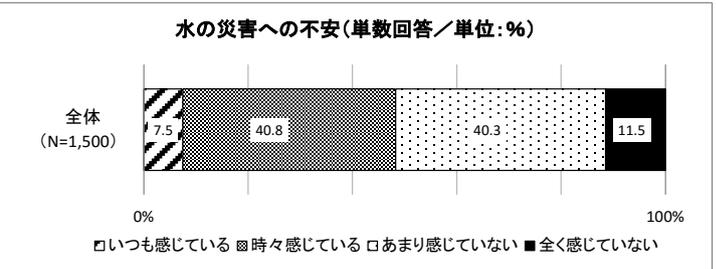
### Q.水の災害への不安は？（4択）

#### ◇“不安を感じていない人”が5割台で推移

昨年、水の災害への不安について2009年以来6年ぶりに調査を実施したところ、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせた“不安を感じていない人”が52.2%となり、2005年～09年までの5年間の平均である42.5%を約10ポイントも上回る結果となったことから、その推移動向を見るべく、本年も同様の調査を行いました。

その結果、“不安を感じていない人”の割合は51.8%と、昨年から増加はしなかったものの、引き続き5割を超える数値で推移しました。

当センターでは、2014年8月の広島、翌15年9月の鬼怒川の大水害はまだ記憶に新しいものと捉えていましたが、災害に遭った地区ではない調査エリアの方にとっては、災害に対する意識が薄らぐのが予想以上に早くなっているように感じられます。



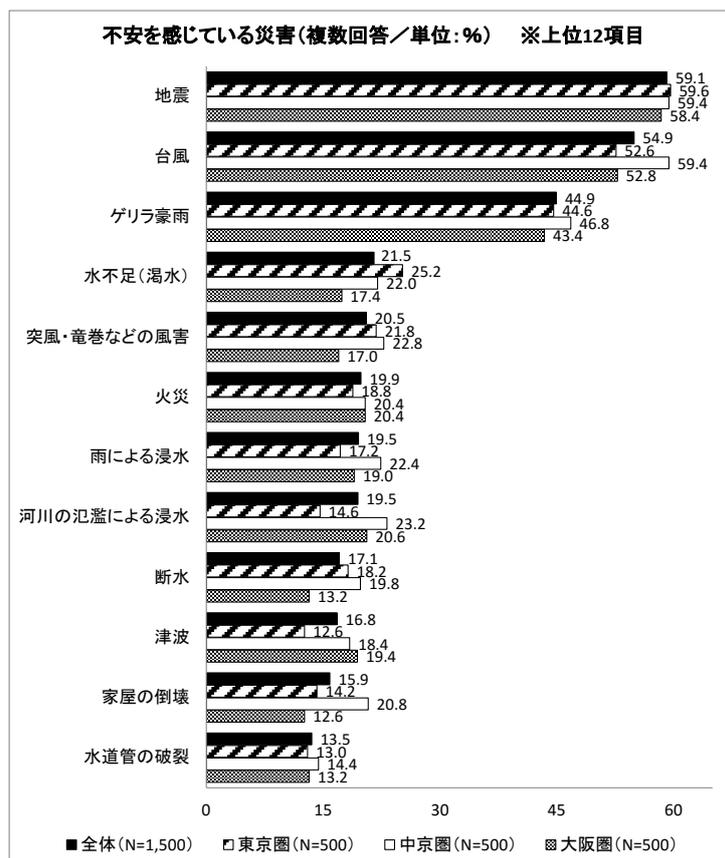
### Q.不安に感じている災害は？（22択+その他+特に不安を感じたことはない）

#### ◇上位4項目は昨年同様で、1位「地震」、2位「台風」、3位「ゲリラ豪雨」、4位「水不足」

##### 居住地別では、中京圏で「地震」と「台風」が同率トップ

不安に感じている災害全般について聞いたところ、上位4項目は昨年と同様の順位でした。5位は「突風・竜巻など」(20.5%)が昨年6位から順位を上げ、昨年5位の「火災」(19.9%)と入れ替わりました。

居住地別にみると、東京圏と大阪圏は、ともに1位「地震」(東京59.6%、大阪58.4%)が、2位「台風」(東京52.6%、大阪52.8%)を5ポイント以上離れたのに対し、中京圏では、「地震」と「台風」が59.4%で同率トップでした。



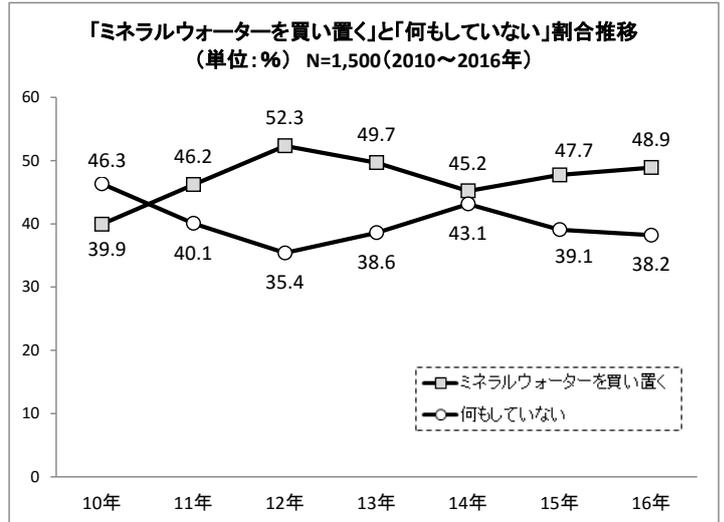
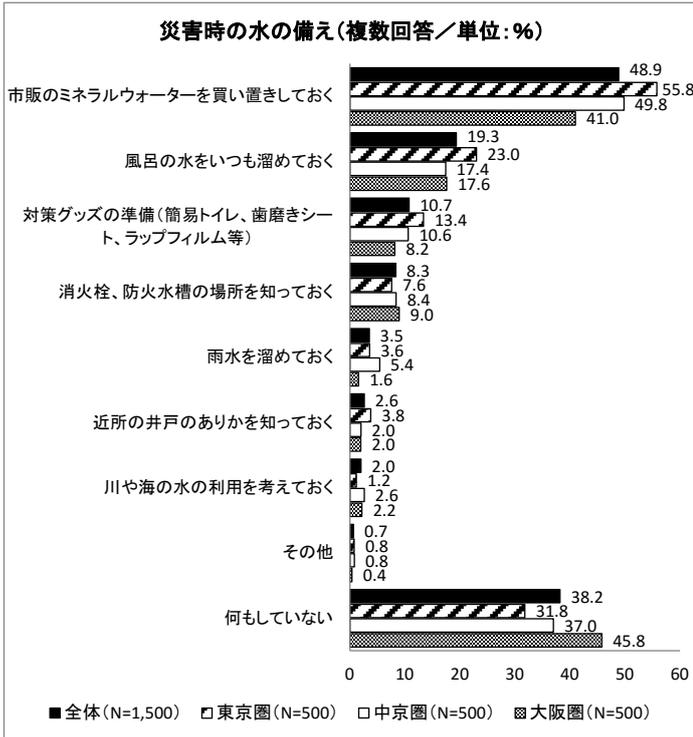
## Q.災害時に対する水の備えは？（7択＋その他＋何もしていない）

### ◇「ミネラルウォーターを買い置く」が1位も、半数未満

#### 東京圏では「何もしていない」人が3割前半まで減少

「災害時に対する普段の水の備え」は、「ミネラルウォーターを買い置きしておく」が昨年(47.7%)から微増の48.9%で1位でしたが、5割には届きませんでした。一方、2位の「何もしていない」は、0.9ポイント減の38.2%で、引き続き4割に近い結果となりましたが、東京圏においては、「何もしていない」人の割合が一昨年41.2%、昨年34.0%、今年は31.8%と3割前半半まで下がっており、近年、備えに対する意識が高まってきていると言えます。

また今回、2010年以降の「ミネラルウォーターを買い置く」人と「何もしていない」人の割合を経年でみたところ、東日本大震災や熊本地震の影響を思わせる変化が若干あるものの、「ミネラルウォーターを買い置く」は概ね5割前後、「何もしていない」は4割前後で推移していることがわかります。

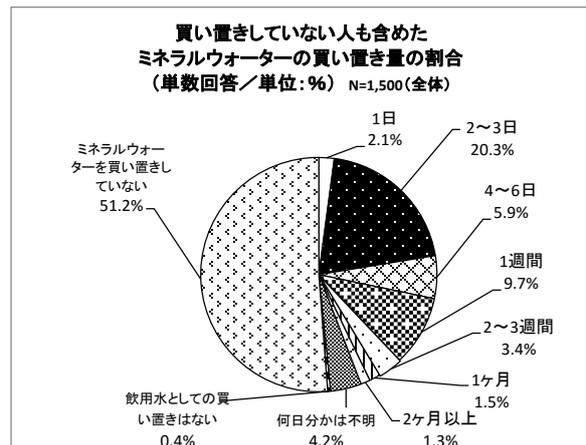
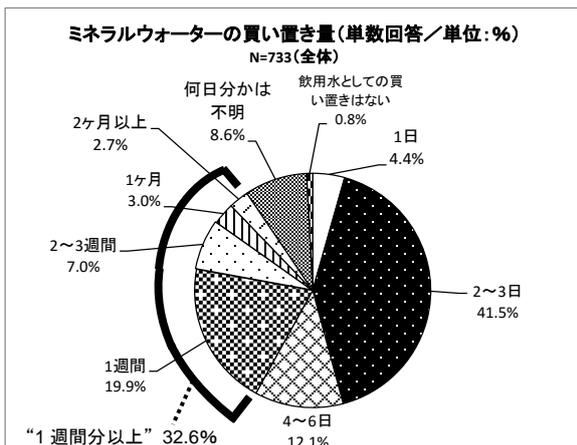


## Q.ミネラルウォーターの買い置き量は？（9択）

### ◇買い置きしている人の中では「2~3日」以上が8割超も、買い置きしていない人を含めると半数以下

ミネラルウォーターの買い置き量に関して、政府のガイドラインでは「一人1日3リットルを目安に3日分」としながらも、「非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では『1週間分以上』の備蓄が望ましい」との記載があります。

それではミネラルウォーターを買い置きしている人たちは、実際にどれくらいの量を常備しているのでしょうか。上記設問で「ミネラルウォーターを買い置く」を選択した回答者を対象に、飲用としての買い置き量を尋ねました。



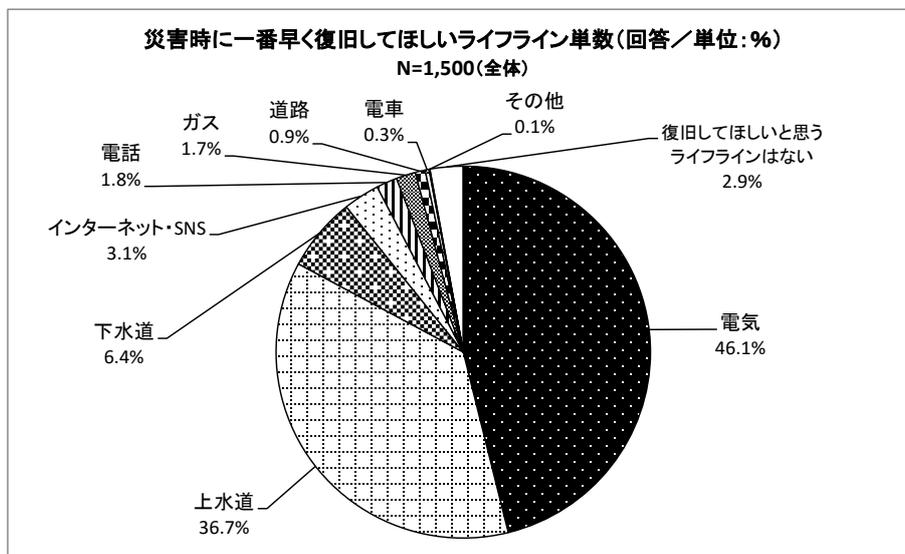
その結果、最も多かったのは「2～3日」で41.5%、次いで「1週間」(19.9%)、「4～6日」(12.1%)、「分からない」(8.6%)、「2～3週間」(7.0%)と続きました。「2～3日」以上の期間を回答した人の合計は86.2%となり、前述のガイドラインによる「3日分」は大多数が達成した一方で、より望ましいとされる「1週間分以上」は3割程度(32.6%)でした。

ただし、前問の災害時の水の備えで「ミネラルウォーター買い置き」を選択しなかった人(51.2%)を含めると、実際には半数以上が最低限としての「3日分」ですら備えていないということになります。

## Q.災害時に一番早く復旧してほしいライフラインは？ (8択+その他+ない)

### ◇「電気」が「水道」を上回りトップ

今回新たに、災害時にライフラインがストップした際にいち早く復旧してほしいと思うものを尋ねたところ、1位は「電気」で、4割を超える回答(46.1%)がありました。2位は「上水道」(36.7%)、3位は「下水道」(6.4%)となり、この2つを合計した「水道」も43.1%で「電気」を下回りました。なお、「電気」は、性別、年代別、居住地別のすべてでトップでした。



## Q.ハザードマップの認知は？ (3択)

### ◇内容も含めた認知率が、初の5割超え

ハザードマップの認知については、「知っている」が52.1%となり、2014年の調査開始以降、初めて認知率が5割を超えました。

居住地別においては、大阪圏のみ「知っている」人の割合が5割に到達しないといった差異が見られました。

